

第2回次期札幌市がん対策推進プラン策定部会 会議録
 議題1：第2次札幌市がん対策推進プランの素案について

番号	委員名	該当箇所	第2次がん対策推進プラン素案に対する意見・要望等	回答
1	臼井委員	P22	【指標】の表中の食生活で、「適切な料と…」の部分は「適切な量と…」の方が文脈を考えるとベターと考えます。	いただいたご意見のとおり修正します。
2	臼井委員	P37	【具体的な取組】の表中のレベルアップで、「札幌SDGs推進事業」の部分ですが、SDGsが唐突に出てきた印象があります。(52ページにSDGsのことが詳しく記載されていますので、このページと関連付けするような注意書きが必要ではないでしょうか。)	第4章のSDGs記載のページを案内するような注意書きを追記します。
3	臼井委員	P37	「あんしんけん」が持っているものが不明です。がんに関するキャラクターなので、体温計を持っているのかと思いましたがどうも違うようです。説明用のポインターでしょうか？わかりやすくイラストを少々補正することが望まれます。	持っているものは「指し棒」です。長さが短いために指し棒に見えにくいこと、有無により性質が変わる類のものではないため、指し棒のイラストは削除します。
4	臼井委員	P38	下から9行目「患者やその家族等が正しい知識を身につけられるよう…」と書かれていますが、アピアランスケアについての正しい知識とは何でしょうか。医療用ウィッグなどが使用可能なこと？あるいは、多くの人が外見変化は「生活に支障がある」と感じていること？あるいは、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用が近い将来助成されることなど？このままの文章ですと、「正しい知識」が何を指すのかが不明瞭に感じられます。	国計画では、アピアランスケア全般についての正しい知識のことを指していると考えられるため、本プランについても「アピアランスケアの正しい知識」の書きぶりに留めたいと考えます。
5	臼井委員	P38	いちばん下の行。「支援をに取り組みます。」は「支援に取り組みます。」だと思います。	いただいたご意見のとおり修正します。
6	臼井委員	P38	下から8行目の「研修等を引き続き開催…」は、「研修等を引き続き実施…」がベター。同様に、39ページも下から8行目「研修等の開催や…」は、「研修等の実施や…」がベターでしょう。その方が、39ページの表の中の「実施する」と整合性が取れます。(参考意見ですが、「研修を実施する」「研修会を開催する」のように、実施と開催の語句の使用を明確化するほうがいいかと思います。)ということで、39ページの【施策の方向性】で「ゲートキーパー研修会を実施し、…」は「ゲートキーパー研修会を開催し、…」か「ゲートキーパー研修を実施し、…」のどちらかの方が適切と感じます。	いただいたご意見のとおり修正します。 なお、当該部分については「実施」で統一いたします。
7	臼井委員	P41	【施策の方向性】の文中で「小児慢性特定疾対策」は、「小児慢性特定疾病対策」ではないでしょうか。	いただいたご意見のとおり修正します。
8	臼井委員	P46、48、	表の中に「取組内容」「取り組み内容」と二種類の仮名遣いで書かれています。48ページでは【現状と課題】の文中に「取り組みを…」とあり、表中には「取組内容」と書かれています。55ページにも表中に「取り組み内容等を…」「達成に向けた取組を…」とあり、言葉の表記がバラバラの印象を受けます。(動詞で「取り組む」と違う場合は平仮名を入れるほうがいいでしょう。名詞で違う場合は「取り組み」「取組」のどちらでもいいのですが、「推進プラン」の中では統一した表記にしたいと感じます。)	いただいたご意見のとおり修正します。
9	臼井委員	P48	【現状と課題】44～5行目「デジタル技術に不慣れな人等」の表現に違和感を覚えました。技術に不慣れなんでしょうか。デジタル(機器の操作・取り扱い)に不慣れなだけではないでしょうか。デジタル技術という言葉は、指す内容・意味が大きすぎる印象を受けました。シンプルに「デジタルに不慣れな」でもいいのかもしれませんが。	いただいたご意見のとおり修正します。
10	臼井委員	P49	…(地域の文章で「市民が取組むよう支援する」とありますが、「支援する」のは誰でしょうか。主語がない文なので、曖昧な印象を受けます。おそらく行政(札幌市)が主語なのでしょうが、「求められます。」と続くので不自然になるから省いたのでしょうか。文の再考が必要に思います。また、ここでは送り仮名が「取組む」となっていますが、他の多くのページでは「取り組み」となっています。	いただいたご意見のとおり、文章を再考のうえ修正します。
11	臼井委員	P51	【計画の推進に向けて】の図でも、地域の枠内の文章で「取り組むよう支援することが…」と書かれており、「支援する」の主語が必要に感じられます。	いただいたご意見のとおり、文章を再考のうえ修正します。
12	臼井委員	P56	高齢者のがん対策の表中に「切れ目のない医療…」とありますが、例えば40ページ下から4行目では「切れ目のない相談支援体制を…」と書かれており、「の」を入れるかどうか、言葉の使い方が統一されていない印象を受けました。どちらかに決めたほうがいいのではないのでしょうか。ちなみに、副詞的に違うなら「切れ目なく」が適切でしょう。	「切れ目のない」で統一することにします。
13	黒巖委員	P10	職場で受ける健康診断等の受診割合が高いことから、職場にてオブションで受けているがん検診の受診状況を把握できる対策を行い、現状をしっかりと把握しながら、更なるがん検診の受診率向上につなげていく必要があると考えます	いただいたご意見を踏まえまして、今後の施策を検討していきます。

第2回次期札幌市がん対策推進プラン策定部会 会議録
 議題1：第2次札幌市がん対策推進プランの素案について

番号	委員名	該当箇所	第2次がん対策推進プラン素案に対する意見・要望等	回答
14	黒蕨委員	P15、16	札幌市の成人全体の喫煙率は全国と比較して男女共に喫煙率が高いことをふまえ、引き続き喫煙率低下のための施策、特に学校における未成年への教育に重点を置いた対策が必要と考えます。学校教育の中でのがん教育の更なる推進を望みます。 また、受動喫煙に関しては職場や飲食店での受動喫煙を有する人の割合がそれぞれ16.8%、27.1%と他の施設に比べて高い割合を示していることから、他の自治体で取っている成功事例などを検討し、札幌市ができる対策を実施していく必要があると考えます。	いただいたご意見を踏まえまして、今後の施策を検討していきます。
15	黒蕨委員	P24	ヘリコバクター・ピロリ対策として、札幌市が進めている50歳以上の方を対象に、胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査費用の一部を補助することで受診率を向上させ、胃がんの早期発見を進めています。画像診断でもヘリコバクター・ピロリ感染の有無の確認が可能となし、感染が疑われる方への除菌の推奨ができる方法の検討が必要と考えます。 ヒトパピローマウイルス（HPV）対策にはワクチン接種の勧奨の啓発とHPV自己採取検査を積極的に進めていく事が必要と考えます。	いただいたご意見を踏まえまして、今後の施策を検討していきます。
16	黒蕨委員	P30	精密検査受診率は全てのがんで低いです。特に胃がん、大腸がん、子宮がんは低く、精検受診率向上の対策は急務であり、未受診者への受診勧奨を積極的に進める必要があると考えます。	いただいたご意見を踏まえまして、今後の施策を検討していきます。
17	黒蕨委員	P35	がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）は重要であり、私も民間での啓発事業の中で活動していますが、もっと大きな活動として進めていくために、更なる行政の支援が必要と考えます。	いただいたご意見を踏まえまして、今後の施策を検討していきます。
18	寺澤委員	-	早期発見、早期治療のためにも、検診率の向上は必要と思います。中小企業関係にも積極的に「がん検診」のアピールが必要と思います。（北海道中小企業家同友会など経由でも良いと思う）	いただいたご意見を踏まえまして、今後の施策を検討していきます。

第2回次期札幌市がん対策推進プラン策定部会 会議録
 議題2：プラン表紙案について

表紙案集計		
A案	B案	その他
2票	5票	1票

委員名	プラン表紙案_その他意見	回答
臼井委員	A案ではビルが建ち並び、自然と共にある札幌市とは懸け離れている印象を受けます。車いすの人も危なっかしい感じがします。全体的に潤いに欠け、このような将来的な街の姿が望ましいとは思えません。 B案は伝えようとしている世界とイメージはわかるのですが、どこかで何回も見たような既視感を覚えます。描かれているのが医療従事者だけなので、広がりを感じられないのも気になります。もっと市民が参画するイメージのプラン表紙案が求められると考えます。	委員のみなさまからの御意見を踏まえまして、B案を採用する方向で検討します。 B案でご指摘いただいた部分は、可能な限り修正をします。